



YOKOHAMA BeachSports FESTA2019

参加者募集!!



YOKOHAMA ビーチスポーツフェスタ 2019 参加者募集告知のご協力よろしくお願いいたします。

平成元年にスタートし、今年で31回目を迎えた横浜市内唯一の海水浴場「海の公園」で夏の風物詩となった『YOKOHAMAビーチスポーツフェスタ』を開催します！

「ビーチバレー」「ビーチハンド（ハンドボール）」「ビーチテニス」「ビーチサッカー」の4種目を開催。さらに、海の公園クリーン活動や今話題のSUP（スタンドアップパドルボード）体験会など、当日来場の方も楽しめる体験コーナーもあります。

【開催日・種目】

- 7月27日（土）・28日（日）ビーチハンド / ビーチテニス
- 7月28日（日）ビーチサッカー
- 8月3日（土）・4日（日）ビーチバレー / ビーチサッカー



【会場】海の公園ビーチ（横浜市金沢区）

金沢シーサイドライン「海の公園南口」駅、または「海の公園柴口」駅 下車



【申込み・問合せ先】※6月3日から申込み開始。種目により定員・締め切りが異なります。

- ビーチハンド：横浜ハンドボール協会
- ビーチテニス：ビーチテニス大会事務局
- ビーチバレー：横浜バレーボール協会
- ビーチサッカー：（一社）横浜サッカー協会ビーチサッカー係

- <http://yokohama-hand.sakura.ne.jp/>
- <http://www.beachtennis.or.jp/>
- <http://yokohama.volleyball.ne.jp/>
- <http://www.yokohama-fa.or.jp/>

当日参加イベントも盛りだくさん！

ビーチクリーン、ビーチヨガ、スタンドアップパドルボード
ビーサン跳ばし、ビーチフラッグス、ビーチタグラグビー
ニュースポーツ体験、ビーチサッカークリニック など
※当日受付 どなたでもご参加いただけます！

『海の公園クリーン活動』開催！

日時：7月27日、8月3日 8:00～8:30
※当日受付 どなたでもご参加いただけます！



【主催】公益財団法人横浜市体育協会、横浜バレーボール協会、横浜ハンドボール協会、
一般社団法人横浜サッカー協会、一般社団法人日本ビーチテニス連盟

裏面あり

お問い合わせ先

(公財)横浜市体育協会 スポーツ事業部長 植木 克典 TEL045(640)0049

YOKOHAMA ビーチスポーツフェスタ 2019 とは・・・

平成元年の「横浜開港 130 周年」を記念して開催された「ビーチバレーボール大会」から始まり、今年で 31 回目を迎えます。平成 20 年の「横浜開港 150 周年」をきっかけに、「ビーチハンド」と「ビーチサッカー」が加わり、現在では「ビーチテニス」が加わった 4 種目となりました。

また、当日は、観覧にいらした方や、公園やビーチをご利用のみなさんも気軽にご参加いただける「ビーチヨガ」「スタンドアップパドルボード」「ビーチタグラグビー」など、どなたでも気軽楽しめる「当日参加型プログラム」を実施します。

ビーチスポーツフェスタ 2019 の特徴

- 「ビーチスポーツフェスタ」は、主に砂浜で行う種目で構成されているイベントで、今年度はマリンスポーツの SUP 体験やビーチヨガ、また、ビーサン跳ばし世界選手権など、どなたでも気軽楽しめるイベントを開催する予定です。
- 会場の海の公園からは、八景島を望む眺めの良いビーチです。
- 大会のお申し込みについては種目ごとに年齢、チーム構成が異なりますので、詳細は各団体ホームページをご確認のうえ、お申し込みください。

○各種目の特徴

ビーチバレー



- ・風向きで試合の流れが変わるので、7 の倍数ごとにコートチェンジを行うなど、インドアバレーとの違いがあります。
- ・また、インドアバレーでは「貼りボール」を使用しますが、ビーチバレーは空気抵抗を考慮して作られた「縫いボール」を使用しています。

ビーチハンド



- ・ドリブルが出来ないため、パスでボールを進めていきます。
- ・コートはハンドボールコートより小さいです。選手の人数も少ないので（コート上 4 名）、ゴールキーパーも攻撃に加わります。ボールも小さく柔らかい物を使用します。
- ・選手の交代が自由なのも特徴です。

ビーチテニス



- ・「テニス」と「ビーチバレー」と「バドミントン」を融合させたようなスポーツです。
- ・ボールはバウンドさせず、空中でラリー（ボレーボレーのイメージ）をしながらポイントを取り合います。
- ・ラケットは「パドル」というビーチテニス専用のものを使用します。

ビーチサッカー



- ・コートが小さく、人数も少ないため（5 人）、フットサルに近いスピード感があります。
- ・思い通りにドリブルが出来ないところを、どのようにしてボールを進めていくかが面白いところです。浮き球のパスがメインプレーとなります。